

品種解説：「カグヤモチ」

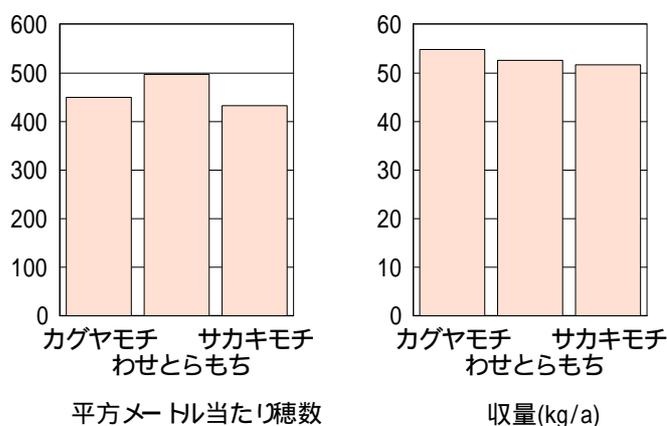
概要：本品種の耐冷性は「わせとらもち」「サカキモチ」より強い“強”である。名前の意味は、“品質が良く熟色が鮮やかであることを、かぐや姫に例えたこと”を表現する。

1．来歴の概要

糯で耐冷性の強い「中母 37」を母とし、草型良、耐冷性強の「ふ系 126 号」を父として、1980 年に青森県農業試験場藤坂支場で交配された。1987 年に「ふ系糯 147 号」の地方番号が付けられ、1990 年に水稻農林糯 305 号として登録された。

2．形態的特性

- ・ 稈 長：「わせとらもち」並みで、「サカキモチ」より短い。
- ・ 穂 長：「わせとらもち」より長く、「サカキモチ」より短い。
- ・ 穂 数：「わせとらもち」より少なく、「サカキモチ」よりやや多い。育成地では、中短稈、偏穂重型のもち種である（下図参照）。
- ・ 粒 大：「わせとらもち」よりやや大きいが、「サカキモチ」より小さい。
- ・ 千粒重：ほぼ「わせとらもち」並みである。



3．生態的特性

- ・ 出穂期：「わせとらもち」並みかやや遅い。
- ・ 成熟期：「わせとらもち」並みかやや早く、育成地では“中生の早”である。
- ・ 収量性：「わせとらもち」「サカキモチ」より多収である（上図参照）。
- ・ 耐倒伏性：「わせとらもち」並みで、「サカキモチ」より強い。
- ・ 葉いもち抵抗性：「わせとらもち」「サカキモチ」より強い。
- ・ 穂いもち抵抗性：「わせとらもち」「サカキモチ」より強い。
- ・ 耐冷性：「わせとらもち」「サカキモチ」より強い“強”である。
- ・ 穂発芽性：「わせとらもち」並みで、「サカキモチ」より発芽しやすい。

特 性	カグヤモチ	わせとらもち	サカキモチ
耐冷性	強	やや弱	中
耐倒伏性	やや強	やや強	中
葉いもち抵抗性	強	やや弱	中
穂いもち抵抗性	強	中	中
穂発芽性	易	易	やや難

4．品質・食味特性

- ・粒張り、白度、光沢が良く、着色粒の発生が少ない。
- ・玄米の外観品質は「わせとらもち」より良く、「サカキモチ」にも優る。
- ・餅の食味は「わせとらもち」より良い。

5．適地等

- ・東北北部および東北中南部の中山間地、中部以南の山間冷涼地帯に適する。

6．栽培上の注意

- ・倒伏抵抗性は「わせとらもち」並みで、また穂発芽性も「わせとらもち」並みの易であるので基準施肥を守り、倒伏させないように注意する。
- ・登熟が早いので、遅刈りによる品質低下に注意する。

<参考資料>

農林水産省農林水産技術会議事務局（平成2年6月）：平成2年農林水産省育成農作物新品种（夏作物・園芸作物）。